

平成28年度に行った「新市庁舎にみんなで「ひろば」をつくる会議」の成果として、  
【みんなの「ひろば」宣言】をまとめます。

みんなの「ひろば」会議の開催状況



開催期間：28年6月～29年1月

テーマ：

(前半)「豊かな市民生活や活動が育まれる新市庁舎低層部をみんなで考えよう」  
(後半)「豊かな市民生活や活動が育まれる新市庁舎低層部を実現する運営をみんなで考えよう」

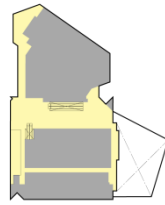
参加延べ人数：183名(全6回)

新市庁舎のみんなの「ひろば」



市民ラウンジ

展示スペース等の  
オープンスペース



3F



2F

水際線プロムナード  
・水辺広場等の外構



屋根付き広場  
(アトリウム)

1F

「ひろば」とは、新市庁舎の低層部全体の空間、  
そこで行われる活動、そして、  
それらを創出していくマネジメントを示しています。

みんなの「ひろば」の活用アイデア

アイデアのキーワード：ひろば



アイデアのキーワード：水辺



アイデアのキーワード：展示・回廊



アイデアのキーワード：市民協働空間



アイデアのキーワード：サービス・サポート



ワークショップの結果を踏まえて立てた仮説

**AB** ひろば  
自然とひとの  
集まるプラザに  
イベントも平時も  
魅力ある空間に

**CD** 水辺  
外と内の壁がり  
快適な水辺活用  
水辺を、隣り  
周辺に歴史的資源  
新たなモビリティ

**EF** 市民協働空間  
創造的な市民共創  
国内外への意識  
市庁舎の中にある  
協働空間の特徴

**GH** 展示・回廊  
市のプロジェクトや政  
策、公×民×学の選  
択を魅力的に発信

**IJ** サービス  
サポート  
オープンで  
フレキシブル  
子どもにも人気な  
開かれた空間

「新市庁舎のミッション」(横浜市新市庁舎デザインコンセプトブック)  
～開港の街から持続可能で豊かな国際都市へ～  
人、自然、街がつながる開かれた市庁舎を具現化し、  
市民と共にOPEN YOKOHAMAを創出する

ここでわたしが横浜の『未来』をつくる！シェアする！

みんなの宣言の中で「わたし」が作り「シェア」する意義  
わたしの「ジブンゴト」を全体に還元すること、  
そして、これからも継続して関わっていくこと。

## 未来をつくり、シェアする「ひろば」。実現のための5つの“軸”

### 【オープンでフレキシブルな運営を行うこと】

- 禁止事項ゼロになるような、前向きな運用を行うこと
- 使い方が柔軟であるための可変性を空間が持っていること
- 関係スタッフの姿勢が親しみやすく、臨機応変であること

### 【「ひろば」でのチャレンジ・トライアルを勇気づけること】

- クリエイティブな活動、トライアルのエラーに寛容であること
- 活動のプロセスや、感性価値を大切にすること
- 活動の幅を広げて、豊かさにつなげていくこと

### 【横浜のローカルからグローバルまでを捉え、未来志向に立つこと】

- 横浜全体・18区のことを深く知り、発信していくこと
- 横浜の歴史を背景として、シビックプライドを醸成すること
- 未来志向を持って、真の国際性を獲得すること

### 【「ひろば」での多様な「ジブンゴト」を受け入れること】

- 「ジブンゴト」として取り組む人の自己実現を励ますこと
- 様々な参加の形と度合いを認めること
- 「ジブンゴト」は他への思いやりも包含していること

### 【バリアのない、ユニバーサルで開放的な雰囲気をつくること】

- 誰でもいつでも「ひろば」に共存できること
- 市民と職員の垣根を取り払い、交流を促すこと
- 市役所らしくない雰囲気を持っていること

## 未来をつくり、シェアする「ひろば」。7つの“場”



イメージ写真：横須賀美術館の広場と憩いの空間

誰でもいつでも居心地よく過ごせる場



イメージ写真：アーバンデザインセンター柏の葉で行われている「公民学」の連携

未来の横浜を生み出す「創造的協働」の場



イメージ写真：シビルウェディングなどの「ハレ」の日イベント、美味しい日常のお店

新たな出会いや発見の場



イメージ写真：歴史を生かした建物「ヨコハマ創造都市センター」で行われるカフェ

横浜らしい魅力を発信し、創造する場



イメージ写真：大岡川沿いの親水空間など他施設との連携

水辺や周辺の街とつながる場



イメージ写真：オープンな対話を演出するロッテルダム市庁舎分館のロビー

市民と職員の「交流」の場



イメージ写真：データと映像に触れられるアルスエレクトロニカのシティギャラリー

横浜の歴史・現在を知り、未来を考える場

⇒ 5つの軸と7つの場を実現するためには、「ひろば」全体をマネジメントする仕組みと主体が求められる。